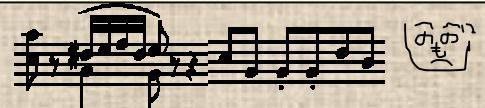


第九たいむず



No.44 2009. 4.9

通刊835担当 M

● メイコンサートまであと7回！！

● 桜が満開ですね

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 090-1828-8052 (事務局次長小野里)

♪メイコンサートまでの今後の練習について

本日の練習より練習時間を9時15分まで延長いたします。残れる方のみで大丈夫です。

去年のメイコンサートの後、オペラを歌う際の振り付け？仕草？を指導してもらいたいとの声が多く、今回、プロの振付師にご指導いただくことになりました。おおまかな動作を本日より行い、指導者の方に、その後の動きを指導していただきます。第1回の振り付け指導が4月30日になります。そのため、それまでに暗譜をしていただく必要がありますので、皆さん、頑張ってお暗譜してください！

♪5月24日(日)メイコンサート(音楽センター)について

とてもきれいなメイコンサートのチラシ・チケットが出来上がりました。(田村先生デザイン)

*チケットについて 1人あたり 15枚お配りし、9000円を集金させていただきます。

・高校生以下は配布致しません。(高校生以下の方でチケットが欲しい方は1枚500円より)

・チケット額面は1枚1000円です。追加のチケットは一枚500円でお渡しします。

*衣装について

☆1ステージの衣装について

女声について 先週の多数決の結果、「白ブラウス＋黒のロングスカート」に決まりました。

第九演奏会と同じですが、アクセサリーは自由にお付けください。

男声について 未定

☆3ステージについては ロシアの民族衣装の雰囲気のを自前でご用意いただく予定です。

演奏会前に衣装合わせがあると思いますが、不安な方は練習の際にお持ちいただき、事前に確認しあいましょう。

*チラシについて 公民館やお店等においていただくよう団員全員のご協力をお願いいたします。

今年は高崎市文化会館が改修工事中のため、メイコンサートを音楽センターで行うこととなりました。たくさんの方に聞きに来ていただけるように宣伝してください！

♪総会とミニコンサートのご案内

日時: 2009年5月21日(木) 18時45分～総会 終了後、ミニコンサート

場所: 高崎カトリック教会

メイコンサート前の最後の合わせになりますので、出演される方は休まないようにしましょう。

※NPO法人としての総会ですので、定数及び議決権の確認を行います。

※総会に出席できない(可能性を含む)場合、あらかじめ委任状の提出をお願いします。

(提出方法: 団員・役員へ手渡し、練習会場持参、FAX、郵送のいずれか)

♪練習用CD 3種類あります。各1枚200円 受付にて販売中

「雪娘」練習用CD ・原曲 + パート別 ピアノ録音 ・指方先生歌 パート別録音

「日本の歌」練習用CD ・指方先生歌 パート別録音

☆指方先生と大里さんが自宅練習用に練習用CDを作ってくださいました♪是非活用してください。

♪スロヴェニア公演参加される方へ

・高崎中央公民館での練習は集会ホールで行います。第二駐車場(無料)をご利用ください。

・ICEC(旅行会社用)黄色い申込書を未提出の方は、次回4月19日(日)までに必ずご提出ください。

♪ベートーヴェンの生涯 ③（第九HPより）

1827年3月26日はベートーヴェンの命日です。第九ホームページより、ベートーヴェンの生涯を抜粋して掲載いたします。

ベートーヴェンは、「第九」を作曲する際にシラーの詩に出会ったわけではない。もっと若い心を持っていた青年期に、非常に強いイメージで刻まれていたに違いない。また 1804 年レオノーレのスケッチにシラーの詩「歓喜に寄す」の一節とそっくりの言葉と、「歓喜のメロディー」とが結びついたのはただ偶然にそうだったということではない。

1787 年シラーのこの詩がシラーの自費出版の雑誌「ラインニッシェ・ターリア（ラインの美の女神）」第2号に発表された。ベートーヴェンは 1789 年5月、ボン大学ドイツ文学科の聴講生となり、フランスのバスチユ占領のニュースがボンに入ったとき有名なシュナイダー教授の熱烈な詩を聞く。そしてシラーのこの詩を読み感動する。

シラーのこの詩はドレスデンで作詩されるやいなや、書き写され全ドイツ語圏にひろがり、当時の進歩的な合理主義と国際平和の団体であったフライマウレル（フリーメーソン）の集まりで歌われていった。

それまでもシラーの書いた劇作はボンでは発表されたその年か、おそくも翌年には必ずといっていいくらい上演されていた。ベートーヴェンはボンのフライマウレルのメンバーとも親しかつたので、ほとんど確実に印刷になる前に読んでいたに違いない。それ以上確かなことは、1792 年ベートーヴェンはボンを離れる前に、「この詩の全篇に音楽をつけたい」と言っていたことがシラーの友人でありボン大学の教授となって赴任してきていたフィシェーニツヒがシラー夫人シャルロッテにあてた手紙に書かれている。シラーの発出の詩をベートーヴェンがボン時代に読んでいたということは『第九』の作曲の精神がどこにあったかを考える上できわめて重要なことである。

この詩に熱狂したのは、何もベートーヴェンだけではなかった。だがこの詩の真髄ともいえるべき理念をシラーがとらえていた以上に鮮明にし、それを今日に至るまで全世界に行き渡るようにしたのはベートーヴェンだけであった。シラー自身はこの詩を書いた時点から後退し、変節したといっているほど時勢に押し流されたにもかかわらず、ベートーヴェンは『第九』で「歓喜」をさらに大きく発展させた。（つづく）

明日です。

♪コンサート情報・行事情報

☆翼然音楽(Wing music)サロン・コンサート第二のタベ「ロシアとヨーロッパでのチェンバロの響き」

2009年4月10日(金) WING(前橋I. C トイザラス近く) 18:00開場 18:30開演 入場料3500円
出演:辰巳美納子(チェンバロ) 高 杉(ヴァイオリン) レオニード・グリチン(チェロ)
スカルラッティ、バッハ、ヴィヴァルディ他の曲を演奏 4回通し券12000円 チケットはユリヤまで

☆塚越夏子個展(油絵)

2009年4月10日(金)～15日(水) シティギャラリー第6展示室 無料
塚越夏子さんは元団員さんです。30余年、描きためた油絵を一挙に展示。是非足を運びください。

☆「国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブin横浜」

2009年4月17日(金)・18日(土) 横浜みなとみらいホール・大ホール 入場料500円
合唱団JOYさんが17日(午前11時頃)に出演。曲目は「海」がテーマの曲として「君と見た海」と、ロシアのオペラ、「エフゲニー・オネーギン」より「ラーリン家の舞踏会」の2曲です。その他、国内外60の合唱団が参加します。

☆松本茂晴「暮らしの器展」

2009年5月2日(土)～10日(日) 10:00～17:30 広瀬画廊にて(山田かまち美術館隣)入場無料
松本茂晴さんは元団員さんです。今も当合唱団を陰ながら支援してくれております。是非お伺いください！

☆オペラ「戦争と平和」トルストイ没後100年記念

2009年5月22日(金) 前橋テルサ 18:30開場 19:00開演 前売6000円(ペア10000円)
世界で活躍するアントレイ・ブレウス:アントレイ公爵役 ターラ・サヴァーリナ:ナターシャ役 ピアノ:ユリヤ・レヴ

☆ランチタイムコンサート 合唱団JOY出演

2009年6月19日(金) 12:15～12:45 の30分間 高崎市庁舎 中2階ロビー
曲は横浜で歌う2曲のほか、定期演奏会で人気の曲を数曲。入場無料

教会の桜も、市役所・お堀端周辺の桜も満開です。1年にこの時期だけの桜、2～3分遠回りしてみませんか。